

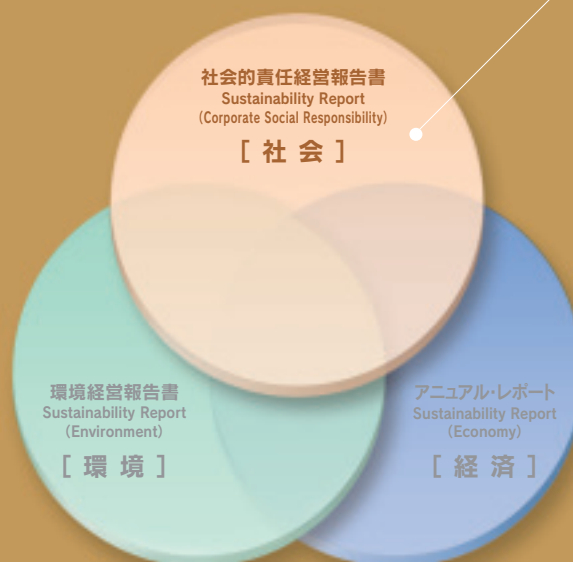
社会から愛され、存続を望まれる企業を目指し、 その活動を「環境」「社会」「経済」の3つの報告書で開示します。

企業は、社会の一員です。企業が社会から愛され、存続を望まれるためには、社会の持続的な発展に貢献することが前提条件になります。リコーグループは、「環境」「社会」「経済」の全ての視点から見て、優れた活動を行うとともに、活動に関する情報を適切に開示することが重要であると認識しています。リコーグループは、「環境」「社会」「経済」の3つの報告書で、情報を開示しています。当報告書は、リコーグループの「社会的責任経営」に関する情報を開示し、関係者（ステークホルダー）の皆様とコミュニケーションを図り、社会的責任経営の改善に役立てることにより、持続可能な社会づくりに貢献することを目的に発行しています。

● 企業情報の入手方法

- ・社会的責任経営情報
<http://www.ricoh.co.jp/csr/>
- ・環境経営情報
<http://www.ricoh.co.jp/ecology/>
- ・IR(株主・投資家向け)情報
<http://www.ricoh.co.jp/IR/>
- ・社会貢献情報
<http://www.ricoh.co.jp/kouken/> (日本語のみ)

社会的責任経営報告書の位置付け



SUSTAINABILITY REPORT (ENVIRONMENT)



SUSTAINABILITY REPORT (CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY)



SUSTAINABILITY REPORT (ECONOMY)



私たちはCSR*に基づいた企業活動を通じて、
持続可能な社会づくりに貢献します。

◎リコーグループのCSR活動領域と推進

私たちリコーグループは、持続可能な社会と企業の存続のため、ステークホルダーごとに社会的責任(CSR)の領域を設定しました。全ての領域の活動において、リコーグループ社員が自らの責任として行動すべき必要があると自覚しています。

- ① 活動の基盤: 「誠実な企業活動」を全ての活動の基盤として、各ステークホルダーに対して果たすべき責任を明らかにしています。
- ② 行動の明確化: 責任を実行するための必要な体制や推進管理方法、また教育など社員自らが取るべき行動も明らかにしています。
- ③ 果たすべき責任の明確化(三つの行動原則): 「誠実な企業活動」の中でも重要である「地球環境の保護」「人権の尊重」「企業を取り巻く社会との関係」については、三つの行動原則(環境との調和・人間尊重・社会との調和)を設定することにより、果たすべき責任を明らかにし、行動しています。

今後私たちは、これら社会的責任(CSR)の各領域における考え方、あるいは活動の計画・目標をより高いものにスパイラルアップしていき、社会から存続が望まれる企業になるよう一人ひとりがそのことを認識し、行動すると共に、社会的責任のある行動を経営のレベルにまで高める努力を行ってまいります。

* Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)